

第6学年「国語」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○ 目的や意図に応じて文章の構成や展開を考えたり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができる。
- 人物像や物語などの全体像を想像したり、読んで理解したことをもとに自分の考えをまとめたりすることができる。
- 課題** ▼ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合うこと。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする力。
- ◇ 情報と情報の関係付けの仕方や図などによる語句と語句との関係の表し方を理解する。

具体的な改善策

- 話し合いを通して何を達成しようとするのかを明確にする。
- 話し合いを通して様々な視点から検討し、自分の考えを広げたり、互いの意見の共通点や相違点、利点や問題点等をまとめたりする。
- 複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句を線でつないだりして、情報や情報どうしの関係を整理する。

達成目標

- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。自分の考えや意見をもち、文章にまとめたり、相手に分かりやすく伝えたりすることができる。